製品安全データシート

化学物質等の名称及び会社情報

化学物質等の名称	メタバナジン酸アンモニウム
製品名（製品コード）	Human Sebocyte（BBSEBF）、Sebocyte Growth Medium（BBSEB1）
会社情報	DS ファーマバイオメディカル株式会社 〒564-0063　大阪府吹田市江坂町２丁目１番 43 号 KYUHO 江坂ビル８階 代表　TEL：06-6337-5940　FAX：06-6337-5997 テクニカルサポート　TEL：072-636-8160　FAX：072-634-7222 URL　:　http://www.dspbio.co.jp E メール　:　dspb-ls@bio.ds-pharma.co.jp

作成：2013 年 11 月 11 日
改定：2014 年 3 月 24 日

整理番号ＬＡＢ４０３

危険有害性の要約（以下の内容は、濃度を示した項目以外は 100%メタバナジン酸アンモニウムとして記しました.）

健康に対する有害性	急性毒性（経口）	GHS 分類	区分３
	急性毒性（吸入）	GHS 分類	区分４
	生殖細胞変異原性	GHS 分類	区分１B
	生殖毒性	GHS 分類	区分２
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	GHS 分類	区分１（呼吸器系、神経系）
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	GHS 分類	区分１（呼吸器系）
環境に対する有害性	水生環境急性毒性	GHS 分類	分類実施中
	水生環境慢性毒性	GHS 分類	分類実施中
	オゾン層への有害性	GHS 分類	分類実施中

注）上記で区分の記載がない危険有害性は政府向けガイダンス文書で規定された〔分類対象外〕、〔区分外〕または〔分類できない〕に該当するものであり、後述の当該項目を確認する必要がある.

絵表示

注意喚起語　危険

危険有害性情報　飲み込むと有毒.　吸入すると有毒.　遺伝性疾患のおそれ.　生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い.　呼吸器系、神経系臓器への障害.　長期にわたるまたは反復ばく露による呼吸器系臓器の障害.

注意書き

【安全対策】
取り扱い後は手をよく洗うこと.　この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと.　粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと.　屋外または喚起の良い場所でのみ使用すること.　使用前に取り扱い説明書を入手すること.　全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと.　適切な個人保護具を使用すること.

【応急措置】
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること.　口をすすぐこと.
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息すること.　気分が悪い場合は医師に連絡すること.
ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること.
ばく露した場合：医師に連絡すること.
気分が悪い場合は、医師の診断、手当てを受けること.

【保管】
施錠して保管すること.

【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること.

組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名または一般名	メタバナジン酸アンモニウム
別名	バナジウム(V)酸アンモニウム、バナジン酸アンモン、(アンモニウムオキシ）バナジウム(V)ビスオキシド

成分及び含有量　0.00000006%
化学式又は構造式（分子量）　NH4VO3（116.98）
官報公示整理番号（化審法,安衛法）　(1)-407

ＣＡＳ　Ｎｏ．　７８０３－５５－６
分類に寄与する不純物及び安定化添加濃度　データなし

応急措置

吸入した場合　気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること．空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息すること．
皮膚に付着した場合　水と石鹸で洗うこと．皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること．
眼に入った場合　水で数分間注意深く洗うこと．眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること．
飲み込んだ場合　口をすすぐこと．気分が悪い場合は、医師の診断、手当てを受けること．
予想される急性症状及び遅発性症状　吸入　：データなし
皮膚　：データなし
眼　：データなし
経口摂取　：データなし
最も重要な兆候及び症状　データなし
応急措置をする者の保護　データなし
医師に対する特別注意事項　データなし

火災時の措置

消火剤　水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤　データなし
特有の危険有害性　不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある．
特有の消化方法　危険でなければ火災区域から容器を移動する．安全に対処できるならば着火源を除去すること．
消火を行う者の保護　適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する．

漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する．　関係者以外の立入りを禁止する．　密閉された場所に立入る前に換気する．　全ての着火源を取り除く．
環境に対する注意事項　環境中に放出してはならない．
回収・中和　漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する．
封じ込め及び浄化方法・機材　水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ．
二次災害の防止策　プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ．

取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策　特別に技術的対策は必要としない．
局所排気・全体換気　『８．ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う．
安全取扱注意事項　取扱後は手をよく洗うこと．　この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと．　粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと．　屋外または換気の良い場所でのみ使用すること．　使用前に取扱説明書を入手すること．　全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと．　適切な個人用保護具を使用すること．
接触回避　データなし．
保管
技術的対策　特別に技術的対策は必要としない．
保管条件　施錠して保管すること．
容器包装材料　データなし．

ばく露防止及び保護措置

管理濃度　未設定
許容濃度（ばく露限界値､生物学的ばく露指標）
日本産衛学会　未設定
ＡＣＧＩＨ　未設定
設備対策　この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には、適切な洗眼器と安全シャワーを設置すること．　ばく露を防止するため、作業場には適切な全体換気装置、局所排気装置を設置すること．
保護具
呼吸器の保護具　適切な呼吸器保護具を着用すること．
手の保護具　適切な保護手袋を着用すること．
眼の保護具　適切な眼の保護具を着用すること．
皮膚及び身体の保護具　適切な保護衣を着用すること．
衛生対策　取扱い後はよく手を洗うこと．

物理的及び化学的性質

物理的状態
形状　固体粉末：Merck (14th, 2006)
色　無色から黄色：Sax (11th, 2004)

臭い　データなし
ｐＨ　データなし
融点・凝固点　200 (decomp.) ℃：Sax (11th, 2004)
沸点、初留点及び沸騰範囲　データなし
引火点　不燃性：PATTY (5th, 2001)
自然発火温度　不燃性：PATTY (5th, 2001)
燃焼性（固体、ガス）　データなし
爆発範囲　データなし
蒸気圧　データなし
蒸気密度　データなし
蒸発速度（酢酸ブチル＝１）　データなし
比重（密度）　2.326 g/cm3：Sax (11th, 2004)
溶解度　0.48g/100g H2O (20℃)：Lange (16th, 2005)
モノまたはジエタノールアミンに易溶: Ullmanns(E) (6th, (2006))
オクタノール・水分配係数　データなし
分解温度　データなし
粘度　データなし
粉じん爆発下限濃度　データなし
最小発火エネルギー　データなし
体積抵抗率(導電率)　データなし

安定性及び反応性
安定性　法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる.
危険有害反応可能性　データなし
避けるべき条件　データなし
混触危険物質　データなし
危険有害な分解生成物　データなし

有害性情報
急性毒性
経口　ラットの LD50 値として 218 mg/kg（雄）、141 mg/kg(雌）および 160 mg/kg(DFGMAK-Doc. 25(2009) 元文献；Monatshefte fur Chenmie (1994).（GHS 分類：区分 3）
経皮　ラットの LD50 値 >2500 mg/kg(DFGMAK-Doc. 25(2009) 元文献；Monatshefte fur Chenmie (1994)).（GHS 分類：区分外）
吸入　吸入（ガス）：常温で固体（crystalline powder）（Merck (14th, 2006)）である.（GHS 分類：分類対象外）
吸入（蒸気）：データなし.（GHS 分類：分類できない）
吸入（粉じん・ミスト）：ラットの LC50 値として 2.61 mg/L/4 h （雄）、2.43 mg/L/4h(雌）(DFGMAK-Doc. 25(2009)元文献；Monatshefte fur Chenmie (1994)）. なお、試験は粉じんで行なわれたとの記載があるため粉じん/ミストの基準値を適用した.（GHS 分類：区分 4）
皮膚腐食性・刺激性　データなし.（GHS 分類：分類できない）
眼に対する重篤な損傷・刺激性　データなし.（GHS 分類：分類できない）
呼吸器感作性又は皮膚感作性　呼吸器感作性：データなし.(GHS 分類：分類できない)
皮膚感作性：データなし.(GHS 分類：分類できない)
生殖細胞変異原性　ラットに経口投与による優性致死試験（生殖細胞 in vivo 経世代変異原性試験）で陽性（DFGMAK-Doc.25(2009)）. その他に、マウスの骨髄を用いた染色体異常試験及び小核試験（体細胞 in vivo 変異原性試験）で陽性（CICAD 29 (2001)）. また、in vitro 試験では、エームス試験で陽性（PATTY (5th, 2001)）と陰性（ATSDR DRAFT (2009)）、ヒトのリンパ球を用いた染色体異常試験で陰性（CICAD 29 (2001)）、チャイニーズハムスターの卵巣細胞を用いた染色体異常試験で陽性（CICAD 29 (2001)）、ヒトのリンパ球を用いた小核試験で陽性（CICAD 29 (2001)）.（GHS 分類：区分 1B）
発がん性　データなし.（GHS 分類：分類できない）
生殖毒性　雄ラットに本物質 20 mg/kg/day を 70 日間飲水投与後､無投与の雌と交配させた試験において、精巣、精巣上体、前立腺および精嚢の重量の有意な低下に加え、交尾率および受胎率の低下が認められた. さらに、雌ラットに本物質 20 mg/kg/day を交配前 14 日より投与し、無投与の雄との交配、妊娠期間、授乳期間を経て出生後 21 日まで飲水投与した試験では、性周期の乱れ、受胎率の低下、着床数および生存胎仔数の著しい低下が認められた（DFGMAK-Doc. 25(2009)）. 以上の両試験とも周産期と離乳期の間で仔の体重低下と発育障害、骨格および内臓の異常、一部に奇形（無眼球、小眼球など）が観察され、形態異常の発生頻度は統計学的に有意ではなかったが投与群で高かった（DFGMAK-Doc. 25(2009)）. 親動物の一般毒性に関しては、体重増加に

影響がなかったとの記述のみで詳細不明である．(GHS 分類：区分 2)

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）

乾燥粉末を容器に入れる作業中、6 時間にわたり本物質のばく露を受けた１人の作業者が、作業

開始 2 時間以内に眼窩後方の頭痛、流涙、口内乾燥、舌の緑変を呈し、３日目後には喘鳴、呼吸困難、咳、さらにその後 2 週間にわたり少量の喀血を生じ、呼吸困難が約１ヵ月継続した（CICAD 29 (2001)）． また、本物質を含む五酸化バナジウム、メタバナジン酸ナトリウム等の混合粉じんの急性職業ばく露で、軽度の症状としてクシャミや咳を伴う鼻炎や喉の灼熱感、中等度の症状として上気道の刺激に加え、呼気性呼吸困難と気管支痙攣を伴う気管支炎、重度の場合は気管支炎と気管支肺炎が記載されている（PATTY (5th, 2001)）． その他に顕著な症状として、重度の神経症状態および指や手の振戦を含む神経系障害が記載され（PATTY (5th, 2001))、加えて動物試験では､イヌおよびウサギにおいてバナジウムの酸化物や塩の急性経口ばく露により中枢神経系障害を含む神経生理学的影響（IARC 86 (2006))、ラットでは、バナジウム化合物に共通した急性毒性症状として活動性、鈍麻、後肢麻痺、痛覚の低下、流涙が報告されている（DFGMAK-Doc. 25(2009)）．(GHS 分類：区分 1（呼吸器系、神経系）)

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）

本物質に限定されたヒトの情報はないが､本物質と五酸化バナジウムの混合粉じんによる職業ばく露を受けた労働者で、咳や気管粘膜の刺激を起こしたとの報告（DFGMAK-Doc. 4 (1992))、およびバナジウム粉じんによる職業ばく露で、気管支炎、気管支痙攣、持続性の咳、鼻腔粘膜の刺激症状、喘鳴、ラ音、水泡音、緑舌、高濃度では呼吸困難や動悸が見られたとの報告が複数あり、肺気腫の危険性がある（産衛許容濃度提案理由書 第 45 巻(2003)）． なお、本物質を用いた動物試験では、ラットに 4 週間飲水投与で、白血球の有意な増加（PATTY (5th, 2001))、別にラットに 4 週間飲水投与により、雄で赤血球、ヘマトクリット値の低下(CICADs 29 (2001))など報告されているが､試験方法が限定的で､病理組織学的所見の裏付けもなく詳細不明である．（GHS 分類：区分 1（呼吸器系））

吸引性呼吸器有害性　データなし．(GHS 分類：分類できない)

環境影響情報

生態毒性　分類実施中

オゾン層への有害性　分類実施中

廃棄上の注意

残余廃棄物　廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする． 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと．

汚染容器及び包装　容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う． 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること．

輸送上の注意

該当の有無は製品によっても異なる場合がある。法規に則った試験の情報に基づく修正の必要がある．

	国連番号	2859
	品名	メタバナジン酸アンモニウム
	Proper Shipping Name	AMMONIUM METAVANADATE
	クラス	6.1
	PG	Ⅱ
	海洋汚染物質	非該当
国際規制	海上規制情報	IMO の規定に従う．
	航空規制情報	ＩＣＡＯ・ＩＡＴＡの規定に従う．
国内規制	陸上規制情報	該当法規なし．
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う．
	航空規制情報	航空法の規定に従う．
特別安全対策		移送時にイエローカードの保持が必要． 食品や飼料と一緒に輸送してはならない． 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う． 重量物を上積みしない．
緊急時応急措置指針番号		154

適用法令

毒物及び劇物取締法　劇物（政令第 2 条第 98 の 3 号）

労働安全衛生法　該当せず

水質汚濁防止法　有害物質（法第 2 条、令第 2、排水基準を定める省令第 1 条）

化学物質排出把握管理促進法（ＰＲＴＲ法）

第 1 種指定化学物質（法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1）（政令番号：1-321）

船舶安全法　毒物類・毒物（危規則第 3 条危険物告示別表第 1）

航空法　毒物類・毒物（施行規則第 194 条危険物告示別表第１）

労働基準法　疾病化学物質（法第 75 条第 2 項、施行規則第 35 条・別表第 1 の 2 第 4 号 1・昭 53 労告 36 号）

その他（引用文献等）

1)　厚生労働省　職場の安全サイト：化学物質：メタバナジン酸アンモニウム

2）　独立行政法人　製品評価技術基盤機構（NITE）化学物質総合情報提供システム

　上記の情報は調査して記載しましたが、必ずしも十分ではなく、すべてを網羅しておりません。また、何ら保証をするものでもありませんので、取扱いの際は十分注意してください。